

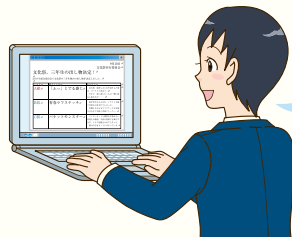
4 データを保存するときに

▶ 保存する場所に気をつけよう

コンピュータで作成したデータは、**ファイル**とよばれるまとまりで保存される。ファイルを使う場所や目的に応じて、コンピュータの中の**ハードディスク**や、**記録メディア**、**ファイルサーバ**など、適切な場所を選ぼう。



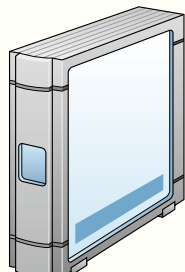
▶ コンピュータ本体



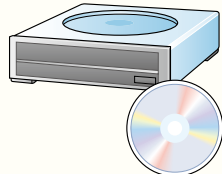
このコンピュータだけでファイルを使う分には便利だね。

▶ 記録メディア

□ 外づけハードディスク

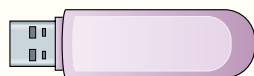


- CD-R
- CD-RW
- DVD-R
- DVD-RW
- Blu-ray Disc



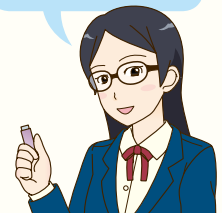
フラッシュメモリ

- SDカード
- ミニSDカード
- マイクロSDカード
- コンパクトフラッシュ
- スマートメディア
- USBメモリ

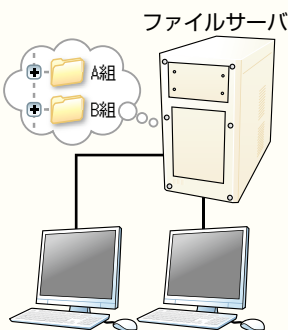


小さいものはなくさないように気をつけたいね。

学校でみんなが使うコンピュータでは使えないこともあるよ。



▶ ファイルサーバ



みんなのファイルがここに集まってくるのよ。

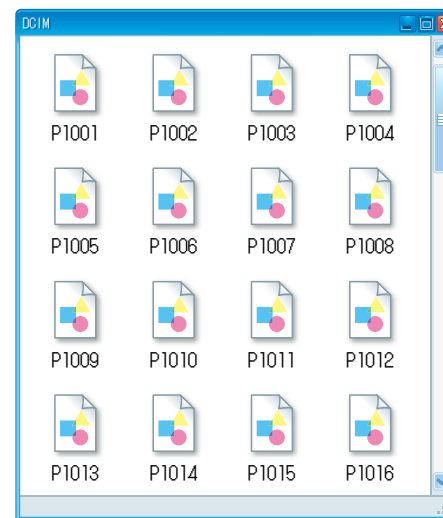


インターネット上にファイルを保存することもできるよ。

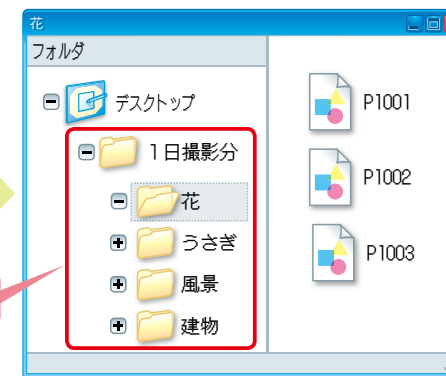
▶ フォルダでファイルを整理しよう

保存したファイルは、使う人や場所を考えて**フォルダ**を使って整理するとよい。関連するファイルを一つのフォルダにまとめると、ファイルを見つけやすくなる。フォルダの中にフォルダをつくり、ファイルを**階層構造**で整理することもできる。

フォルダを使ったファイルの整理



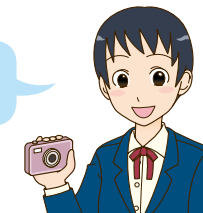
デジタルカメラで撮影した画像も、



階層構造

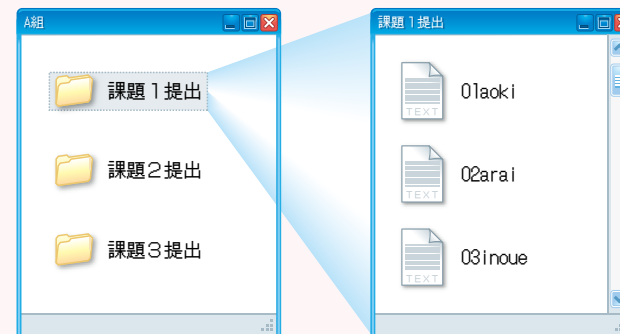
内容ごとにフォルダにまとめると、

探しやすくなるね。

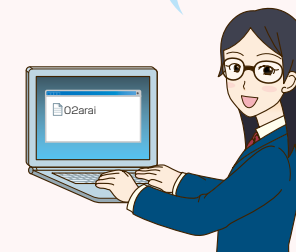


● 課題を提出するときは

課題などで作ったファイルを提出するときは、自分のクラスのフォルダなど、決められた場所に、指示された名前で保存しよう。



ここでは、「課題1提出」フォルダに、ファイル名を出席番号と苗字にして提出しているのよ。



▶ ファイル形式に気をつけよう

ファイルにはさまざまな種類があり、それぞれ**ファイル形式**が異なる。ソフトウェアがファイル形式に対応していないと扱^{あつか}うことができない。ファイル形式は、ファイルの**アイコン**や**拡張子**などで見分けることができる。

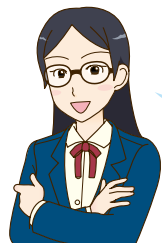
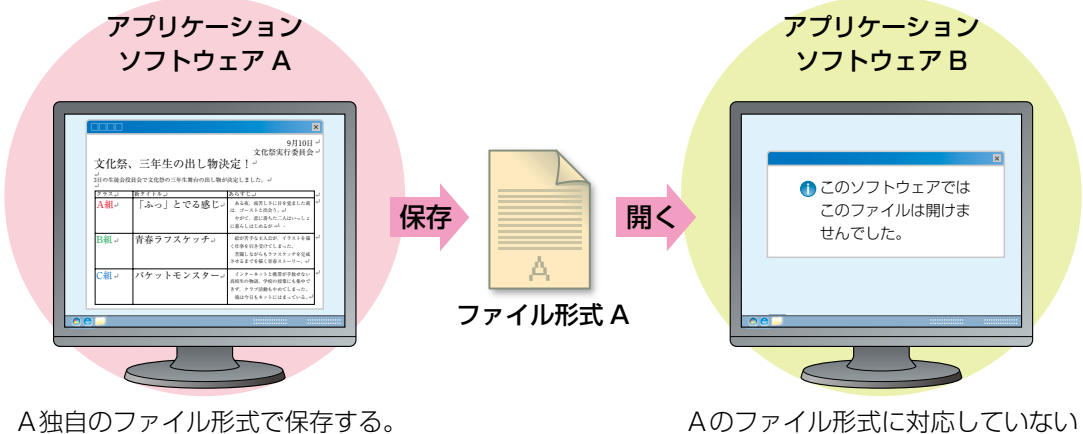
さまざまなファイル形式

(→ p.155)

OSの設定によって、拡張子の表示、非表示を切り替^かえられる。

テキストファイル	画像ファイル	音声ファイル	動画ファイル
○○○.txt	○○○.jpg ○○○.gif ○○○.png	○○○.wav ○○○.mp3 (→ p.135)	○○○.avi ○○○.mp4 (→ p.126) ○○○.mov
ファイル名	拡張子	アイコン	

アプリケーションソフトウェアとファイル形式の関係



ファイルをやり取りするときは、ファイル形式を確認しておかないとね。

▶ データの容量に気をつけよう

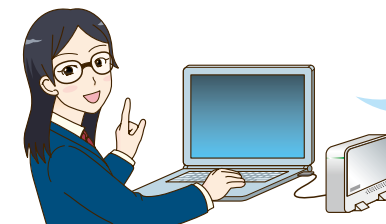
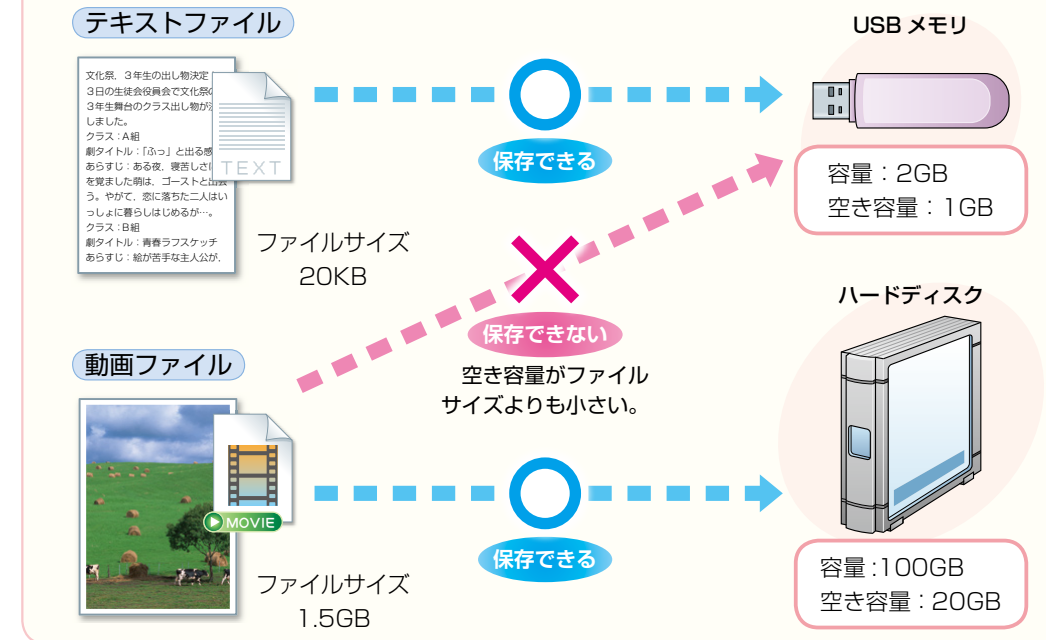
ファイルを保存する場合は、保存する場所に十分な空^あき容^{ようりょう}量があるか確認しよう。通常、ファイルサイズは**バイト**という単位であらわされる。大きなサイズをあらわす場合、キロやメガなど、大きさをあらわす接頭語を用いると便利である。

ファイルサイズをあらわす単位と接頭語

	単位	読み方	大きさの関係
小 ↓ ↓ ↓ ↓ 大	Byte	バイト	—
	KB	キロバイト	1KB=1024B
	MB	メガバイト	1MB=1024KB
	GB	ギガバイト	1GB=1024MB
	TB	テラバイト	1TB=1024GB
	PB	ペタバイト	1PB=1024TB

(1024=2¹⁰=2の10乗)

ファイルサイズと記録メディアの空き容量の例



ファイルを保存する場合は、保存する場所に十分な空^あき容^{ようりょう}量があるか確認しよう。

? 自分でつくったファイルや、ハードディスクの中のファイルのファイルサイズを調べてみよう。